



2008年1月28日

各位

会社名 株式会社 クレハ  
代表者名 代表取締役社長 岩崎 隆夫  
コード番号 4023 (東証・大証第一部)  
問合せ先 広報部長 古谷 良樹  
(TEL 03-3249-4651)

## 炭素繊維事業の拡大について

株式会社クレハ（本社：東京都中央区、社長：岩崎隆夫）は、産業界の様々な分野でピッチ系炭素繊維（商品名「クレカ」）の需要が拡大していることに対応し、いわき事業所（福島県いわき市）および上海呉羽化学有限公司（中国・上海市）の二つの生産拠点において、同時に生産設備を増強することといたしました。

[生産設備の増強計画について]

### 【いわき事業所】

炭素繊維原糸は段階的に 1,100 トン→1,800 トン（年産）へ増設、加工品の能力は倍増へ

- ・炭素繊維原糸の生産能力（年産、以下同じ）を現行の 1,100 トンから 1,450 トンへ増設（2009年春稼働開始）します。引き続き第2次増設として、1,800 トンへの増設を計画しています（2012年春稼働予定）。
- ・加工品の生産能力は、断熱材「クレカ FR」、原糸を短繊維化した「クレカチョップ」について、いずれも倍増とします（2012年春迄に段階的に増設）。

※ 2006年12月に炭素繊維原糸を 750 トンから 1,100 トンに増設しましたが、2007年で既にフル稼働となっており、2008年もフル稼働が継続する見込みです。

### 【上海呉羽化学有限公司】

成型断熱材の生産能力は 3 倍へ

- ・上海市嘉定工業区南区の工業団地において 2004年に稼働開始しましたが、2006年秋の上海市および嘉定区政府からの移転要請に対し、嘉定工業区北区の工業団地へ移転することで合意しました。
- ・移転にあわせ、「クレカ FR」の生産能力を倍増します（2009年春稼働開始）。引き続き第2次増設として、「クレカ FR」を現行比 3 倍への増設を計画しています（2012年春稼働予定）。

なお、現所在地の嘉定工業区南区の生産設備は、段階的に嘉定工業区北区の新工場へ移設します（2009年秋迄に移設予定）。

両生産拠点での設備増強（移転費用含む）に関わる総投資額は、約 60 億円を予定しています。

[生産設備増強の背景について]

当社の炭素繊維は、石油ピッチを原料とし、耐熱性、強度、加工性、導電性、耐薬品性、摺動性（※）などの特長を活かした用途開発を進めてまいりました。現在では、産業界において不可欠の素材として、年々需要が高まってきています。

当社は、紡糸した“原糸”を加工した製品として、断熱材「クレカ **FR**」、「クレカフェルト」、短繊維化した「クレカチョップ」、「クレカミルド」、撚り糸「クレカヤーン」、織物の「クレカクロス」、紙状の「クレカペーパー」などを供給し、世界最大のピッチ系炭素繊維メーカーとしての生産・販売体制を強化してまいりました。現在、グローバルで売上約 **60** 億円の事業規模となっています。

（※ 摺動性～接触する素材間での摩擦磨耗の性能。ここでは滑りやすく磨耗しにくい特性）

このうち主力の「クレカ **FR**」、「クレカフェルト」を製造工程で断熱材として使用する分野としては、

- ・ 大型投資が続く **300** ミリ半導体ウエハーや今後の **450** ミリ大口径ウエハー
- ・ 環境関連で普及が進む太陽光発電システム用のシリコン基板
- ・ 排ガス規制に対応したディーゼル車用排ガスフィルター（**DPF**）
- ・ 好調な工作機械用超硬金属や販売台数が伸びるハイブリッド車用モーター磁性材料
- ・ 増設が続く特殊炭素材料、**C/C** コンポジットやカーボンファイバー
- ・ 液晶プラズマディスプレイ用石英ガラス、ステッパ用レンズ、**LED** 基板

などがあり、環境ビジネス、半導体、自動車関連、新素材の生産分野で、いずれも代替が難しく、かつ必要不可欠な製品として使用されています。当社は、これらの炭素繊維成型断熱材分野において、世界の **50%**以上のシェアを持っています。

また、「クレカチョップ」、「クレカミルド」は、プラスチック等との複合材として自動車の軸受け、クラッチフェーシング、ブレーキライニング、パワーステアリングなどのシール材部品（一部はアスベスト代替用途）や、電気・電子部品、導電材料、機械部品に使用されています。

[本事業の今後の見通しについて]

本事業は、これまでの需要創生期から本格的な需要拡大期に移行しており、特に環境関連産業でのニーズが高まっています。**2012** 年度にはグローバルで売上約 **120** 億円の事業規模とする計画です。

生産拠点は、上記の 2ヶ所に加え米国ペンシルバニア州に **KREHA ADVANCED MATERIALS INC.**があり、日本、中国、欧州、米国にある販売拠点との緊密なネットワークによる生産販売の最適化を進めながら、本事業の拡大をはかってまいります。

なお、本設備増強による **2008** 年 **3** 月期業績予想への影響はありません。

以上